

令和7年度

静岡県教育研究会音楽教育研究部

第3回 研究部委員研修会

日時：令和8年2月13日（金）

14：00～（会計監査 13：30～）
（受付 13：45～）

会場：静岡県教育会館 地下D会議室
及び
ZOOM 配信

次 第

- 1 開会の言葉（事務長）
- 2 部長講話及び令和7年度在り方検討委員会からの報告（事務長・部長）
- 3 議 事
 - （1）令和7年度事業報告のまとめと令和8年度事業計画について（事務長）
 - （2）令和7年度決算及び令和8年度予算案について（会計主任）
 - （3）令和8年度研究部役員について（部長）
- 4 連絡
 - （1）本部刊行物の原稿執筆者のローテーションについて（事務長）
 - （2）夏季研究大会開催予定地区について（部長）
 - （3）来年度の第1回音楽部委員研修会について（事務長）
 - （4）来年度の役員連絡先集計について（学校メール送信のお願い）（事務長）
 - （5）令和11年度 東海北陸小中学校音楽教育研究会 静岡大会について（事務長）
- 5 その他
 - ・各地域からの実践報告（情報交換等）
- 6 閉会の言葉（事務長）

令和7年度 音楽教育 研究部 事業報告書

静教研三大事業

研究大会	開催方法	集合開催				
	日 時	令和7年 8月 6日 (木) 9:20 ~ 16:00				
	会 場	沼津市民文化センター				
	参加者数	308名	分科会数	3	実践発表者数	6名
	内 容	<p>○分科会 3 (小学校低学年・小学校高学年・中学校)</p> <p>○各分科会で、発表者は2人の計6人</p> <p>○発表地区 小学校 1～3年: 賀茂・東豆地区</p> <p>①「自分なりの思いをもって伝えようとする授業づくり～みんなはCMクリエイター～」 下田市立稲生沢小学校 鈴木 めぐみ教諭</p> <p>②「音楽的な見方・考え方を働かせて音楽を楽しむ子の育成」 熱海市立桃山小学校 藤本 明香教諭</p> <p>小学校 4～6年: 三島・田方地区</p> <p>③「豊かな表現につながる知識技能の定着を目指して～思いや意図が生かされる音楽活動の実現～」 三島市立東小学校 原 聡子教頭</p> <p>④「自分の思いや意図をもち、いきいきと音楽を表現できる子供たちの姿を目指して」 函南町立西小学校 水野 明世教諭</p> <p>中学校 富士地区</p> <p>⑤「生涯に渡って音楽を愛好する心を育てる」 富士市立吉原第二中学校 中井 知夏子教諭</p> <p>⑥「音楽のよさや美しさを、対話を通して深め、より良い表現を目指す生徒」 富士宮市立富士宮第四中学校 砂子坂 真美教諭</p> <p>《午後》</p> <p>全体会・講演会 講師: 山崎 朋子 氏 (作曲家・合唱指導者)</p> <p>演題: 響き豊かな声で歌おう 歌詞を理解し、楽曲の組み立てを知ろう 心を開く授業を進めるために</p>				
調査研究活動	事業名	実施内容 (実施日・会場・内容 等)			参加者・人数等	
	各地区における研究活動 第2回委員研修会における講師招聘 (11月5日)	各地区において、授業実践や調査活動や資料収集を行った。 信州大学教授 齊藤忠彦先生をお招きし、労政会館にて研修会を行った。中学校音楽科を中心に、次期学習指導要領に向けての中教審の動きや現行からの改訂ポイントなどを分かりやすく教えていただいた。			21人参加	
研究成果刊行	刊行物名	内 容			刊行部数・頒布先・方法等	
	「音楽部報」	令和7年度音楽部の夏季大会及び各地区の研究活動のまとめ			HP上に記載 県内小中学校の音楽部会員 及び教育機関	

本年度の成果と課題

夏季大会や研修会を通して、教科横断的な題材構想や音楽的な見方・考え方を効果的に働かせる実践、効率的に知識技能を定着する活動、ICTを上手に取り入れた授業など、幅広く授業づくりの例が紹介されたことで、音楽科における授業内容を深めることができた。さらに、実践発表後に対話の時間を意図的に設定したことで、音楽の授業における各地域の特色や重点などを共有することもできた。これらにより、所属部員の授業実践意欲が更に高まった。運営面の課題として、地区ごとの実態を考慮した持続可能な夏季大会の実施方法や在り方を検討している。

令和 8 年度 音楽教育 研究部 事業計画書 (案)

静教研三大事業

研 究 大 会	開催方法	集会形式 (オンデマンド配信未定)				
	日 時	令和 8 年 8 月 6 日 (水) 9 時 3 0 分 ~ 1 6 時 0 0 分				
	会 場	静岡労政会館・静岡音楽館 AOI				
	参加者数	約 2 5 0 名程度	分科会数	3	実践発表者数	6 名
	内 容 ・全体会 ・講演会 ・分科会 等の概要	○分科会 3 (小学校低学年・小学校高学年・中学校) ○各分科会で、発表者は 2 人の計 6 人 ○発表地区 (小学校: 静岡地区 4 人 中学校: 静岡地区 2 人) ○全体会・講演会 講師: オルガン奏者 マリア暮林美歌里 演題: 未定				
調 査 研 究 活 動	事 業 名	実施内容 (実施日・会場・内容等)			参加者・人数等	
	各地区における 研究活動 全日本音楽教育研究会 全国大会近畿大会	各地区において、授業実践や発表会等を通して、研究大会のための地域集会及び、調査活動や資料収集を行う。 公開授業・研究協議、部会総会、ワークショップ 研究発表・記念演奏				
研 究 成 果 刊 行	刊行物名	内 容			刊行部数・頒布先・方法等	
	「音楽部報」	令和 8 年度音楽部の夏季大会及び 各地区の研究活動のまとめ			静教研 HP に掲載 県内小中学校の音楽部会員 及び教育機関	

研究部内の会議 (研究部委員研修会) 等

予定日時	会場・方法	事業計画の概要	参加予定人数
令和 8 年 5 月	静岡県教育会館 (未定) 静岡県教育会館	令和 8 年度音楽部第 1 回研修会 (集合開催)	3 0 名程度
令和 8 年 1 1 月		令和 8 年度音楽部第 2 回研修会 (集合開催)	3 0 名程度
令和 9 年 2 月		令和 8 年度音楽部第 3 回研修会 (ZOOM 開催) ※会計監査担当者は集合開催	3 0 名程度

令和7年度（音楽）研究部 決算書（案）

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増減	備 考
研 究 部 費	580,000	580,000	0	
雑 収 入	0	212	212	利息
計	580,000	580,212	212	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増減	備 考
A 研究大会費	1 謝金	80,000	80,000	0 講師
	2 旅費	60,000	28,044	-31,956 講師 14,310 円 役員 13,734 円
	3 借料・損料	99,000	89,900	-9,100 会場
	4 資料費	30,000	54,903	24,903
	5 通信運搬費	10,000	1,430	-8,570
	6 賃金	0	0	0
	7 需用費	50,000	34,188	-15,812
	小 計	329,000	288,465	-40,535
B 調査研究費	1 謝金	50,000	50,000	0 講師 50000円
	2 旅費	107,000	27,860	-79,140 講師 27860円 役員 0円
	3 借料・損料	0	0	0 会場
	4 資料費	0	0	0
	5 通信運搬費	0	0	0
	6 賃金	0	0	0
	7 需用費	0	0	0
	小 計	157,000	77,860	-79,140
C 研究成果刊行費	1 旅費	0	0	0
	2 借料・損料	0	0	0
	3 資料費	40,000	29,700	-10,300
	4 通信運搬費	0	0	0
	5 賃金	0	0	0
	6 需用費	0	0	0
	小 計	40,000	29,700	-10,300
D	研究用図書購入費			0
E	A+B+C	526,000	396,025	-129,975
F	研究部内の会議費等	54,000	16,740	-37,260 会議室利用料、振込手数料他
G	総 計	580,000	412,765	-167,235

残金の 167,447 円は、静教研事務局へ返納しました

様式 6

令和8年度 音楽教育 研究部 予算書(案)

科 目		予 算 額	積 算 内 容
A 研究大会費	1 謝金	60,000	講 師 50,000 円×1人 = 50,000円 講 師 10,000 円×1人 = 10,000円
	2 旅費	32,000	講 師 1,000 円×2人 = 2,000円 大会役員派遣 30,000円
	3 借料・損料	238,000	会場借料(労政会館、AOI)
	4 資料費	5,000	
	5 通信運搬費	5,000	
	6 賃金	0	
	7 需用費	35,000	消耗品
	小 計	375,000	
B 調査研究費	1 謝金	50,000	講 師 50,000 円×1 人 = 50,000円
	2 旅費	72,000	講 師 20,000 円×1 人 = 20,000円 R8全日音研(奈良) 参加費 7,000円 宿泊費 20,000円 旅費 25,000円
	3 借料・損料	0	会場借料
	4 資料費	0	資料費
	5 通信運搬費	0	郵送料 円
	6 賃金	0	
	7 需用費	0	
	小 計	122,000	
C 研究成果刊行費	1 旅費	0	編集委員 円× 人 = 役員等
	2 借料・損料	0	会場借料
	3 資料費	50,000	刊行物印刷(静教研HPに掲載)
	4 通信運搬費	0	
	5 賃金	0	消耗品等
	6 需用費	0	
	小 計	50,000	
D 研究用図書購入費			
E A+B+C		547,000	
F 3大事業以外の経費		33,000	振込手数料、研修会会議室利用料
G 総 計		580,000	

R7以降の静教研音楽教育研究部の役員について

		氏 名	学 校 名	職 名	静教研事務局の意向	
部 長		部長は静岡の校長で分担する。		校長		
副 部 長		副部長は大会の地区によって変更。 静岡地区大会：静岡、静岡西地区 静岡大会：静岡東地区、静岡西地区		校長	部長と副部長は、静岡東、静岡、静岡西の校長代表で分担する。（※部長は2年以上、部長・副部長を務めることが望ましい）	
				校長		
				校長		
事 務 長		事務長は静岡（教員）で分担する。		教諭		
幹 事	校 長	幹事（校長及び教職員）は令和8年度以降は設定しないこととする。 ※静教研の規程改訂のため。		校長	幹事（校長）は、副部長が兼任する。 幹事は、部長・事務長・副部長・幹事の6名（校長3、教員3）とする。※必要な場合のみ開催。	
				校長		
				校長		
		教職員			教諭	事務長と幹事（教員）は、静岡東、静岡、静岡西の教員代表で分担する。（※事務長は2年以上、事務長、幹事を務めることが望ましい。）
教諭						
編 集 委 員	主 任	編集主任は、静岡西または静岡東地区から交互に分担する。編集委員は、静岡と静岡西、静岡東の3人で行う。		教諭	編集主任は、事務長が兼ねることが望ましい。そうでない場合は、編集主任は、委員研修会に参加し、取組の提案及び報告を行うようにしたい。 大会報告の執筆者は、大会事務局長以外の関係者が望ましい。（大会	
	委 員			教諭		
	委 員			教諭		
	委 員			教諭		
	大会報告執筆者			教諭		
	研究冊子執筆者			教諭	会計主任は、委員研修会に参加し、取組の提案及び報告を行うようにしたい。 会計主任が夏季大会の会計を兼ねるかは、研究部に一任する。 調査研究活動等の別の皆生担当を置くことも研究部に一任する。	
会 計	主 任	会計主任は静岡（教員）で分担する。		教諭		
	夏季大会			教諭		
	担 当					
	担 当					
会 計 監 査		会計監査は静岡東地区、静岡、静岡西地区の校長代表で分担する。		校長	会計監査は、13地区の校長代表の中から人選する。できるだけ、静岡に近い地域からの選出が望ましい。 （第3回委員研修会に県教育会館まで来ていただく必要があるため。	
				校長		
		大会実行委員長、事務局長は2年間地区代表を務めることが望ましいが、各地区の状況で大会の年度のみも可とする。		校長		
大会実行委員長				校長	原則として、大会実行委員長、事務局長は、当該年度と前年の2年間、地域代表を務めることとする。	
大会事務局長			教諭			

令和8年度 音楽教育 研究部 役員一覧 (案)

		氏 名	学 校 名	職名	Email	個別／共用			
部 長		静岡		部長と副部長は、静岡・静岡・静岡西の校長代表で分担することを原則とする。（※部長は地域の校長代表を経験していることが望ましい。）					
副 部 長	東								
	静岡								
	西								
事 務 長		静岡							
幹 事	校 長			事務長は、静岡・静岡・静岡西の教員代表で分担する。（※事務長は地域の教職員代表を経験していることが望ましい。）					
	教職員			幹事は研究部の必要に応じて置くことができる。					
会 計 監 査		静岡	第3回委員研修会に参集していただく必要があるため、静岡に近い地区にお願いしたい。	会計監査は、13地域の校長代表の中から、3名入選する。副部長と兼ねることができる。					
		志太							
		富士							
研究大会	実行委員長			原則として、大会実行委員長、事務局長は、当該年度と前年の2年間、地域代表を務めることとする。					
	事務局長								
編 集 委 員	主 任	東・西で交代		編集主任は、事務長が兼ねることが望ましい。そうでない場合は、編集主任は、委員研修会に参加し、取組の提案及び報告を行うようにしたい。					
	委員	東							
	委員	静岡							
	委員	西							
	大会報告執筆者								
	研究冊子執筆者								
	研究部成果刊行物責任者								
会 計	主 任	静岡		会計主任は、委員研修会に参加し、取組の提案及び報告を行うようにしたい。 会計主任が夏季大会の会計を兼ねるかは、研究部に一任する。 調査研究活動等の別の会計担当を置くことも研究部に一任する。					
	夏季大会								
評議員		部長と事務長は評議員を兼ねる							

令和 8 年 3 月 3 1 日

関係小中学校事務職員 様

静岡県教育研究会音楽教育研究部
部 長 小田 泰子
事務長 小林 直喜

学校メール送信のお願い

ご多用の中大変恐縮ですが、連絡先集計のためご協力ください。つきましては、下記の例を参考に学校メールで送信していただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1 送信先

清水飯田東小学校 小林宛 shimizuiidahigashi-e1@shizuoka.ednet.jp

※e1（ローマ字のエではなく、数字のイチです。ご注意ください。）

2 本文入力内容

①学校名

②氏名（振り仮名）

3 入力例 下記のように、役員の方のお名前と学校名をご入力ください。

件名：静教研音楽教育研究部
（以下、本文にご入力ください。）
学校名：静岡市立清水飯田東小学校
氏名：小林直喜（こばやしなおき）

4 お願い

- ・必ず学校メールにて送信してください。
- ・4月末日までに送信いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

連絡先 静岡市立清水飯田東小学校
担当者名 小林 直喜
TEL：054-365-1444
FAX：054-365-1445
E-mail（事務室）：
shimizuiidahigashi-e1@shizuoka.ednet.jp

令和8年3月31日

関係学校長 様

静岡県教育研究会 会長 北川 和彦
同音楽教育研究部 部長 小田 泰子

令和8年度静岡県教育研究会 第1回音楽教育研究部委員研修会の開催について（通知）

標題の件について、下記のとおり開催いたします。つきましては、貴職または関係教職員の出席にご配慮願います。

記

- 1 日 時 令和8年5月27日（水） 14：00～16：00
受付 13：30～
- 2 場 所 静岡県教育会館 地階 C会議室
静岡市葵区駿府町1番地12号 TEL 054-252-1011
- 3 内 容 (1) 部長教育講話
(2) 役員の選出、組織の承認
(3) その他
- 4 連絡事項
 - ・当日、欠席された方からも役員として選出されることもございますので、ご了承ください。
 - ・ご都合が悪く欠席される場合は、事務長までFAXまたはメールにて必ずご連絡ください。
 - ・委員が変更した場合は、前年度の委員が責任をもってこの派遣願いと学校メール送信のお願いを次の委員へ送るようにしてください。

※今後文書を発送する上で、メールアドレスを教えてくださいと思います。
別添えの「学校メール送信のお願い」をご覧ください、事務長小林宛てに学校メールを送信してください。集計作業の簡略化にご協力ください。

連絡先 静岡市立清水飯田東小学校

連絡者名 小林 直喜

TEL：054－365－1444

FAX：054－365－1445

E-mail（事務室）：

shimizuiidahigashi-e1@shizuoka.ednet.jp

令和 8 年度 研究部成果刊行物計画

研究部名 (音楽教育) 研究部

タイトル	静教研 音楽部報
内 容 (目次)	<div>○表紙</div> <div>○部長講話</div> <div>○夏季大会報告</div> <div>○静東地区実践報告</div> <div>○静岡地区実践報告</div> <div>○静西地区実践報告</div> <div>ページ数 (8) おおよその目安で結構です</div>
事務局への 提出予定	<div>○提出責任者 氏 名 (小林 直喜)</div> <div>学校名 (静岡市立清水飯田東小学校 ※令和 7 年度在籍)</div> <div>○提出方法 PDFファイル ・ 印刷物</div> <div>○提出予定 1 2 月末 ・ 1 月末 ・ 2 月末</div> <div>※いずれかに○をつけてください。</div>
備 考	

※提出方法については、PDF の場合は、静教研事務局へメールにて、印刷物の場合は、静教研事務局へ郵送または持参で、綴じ込みはしないようにお願いします。

令和8年6月10日

関係所属長様
各賞・中学校長様
義務教育学校長様
各研究部員様

静岡県教育研究会会長 北川 和彦
同音楽教育研究部部長 小田 泰子
同研究大会実行委員長 坂口明日香

静岡県教育研究会音楽教育研究部夏季研究大会のご案内

- 1 方法 集合開催・紙上開催
2 期 日 令和8年8月6日(木)
3 会 場 静岡労政会館 6階 (〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 ☎(054)-221-6280)
静岡音楽館 AOI 8階 (〒420-0850 静岡市葵区黒金町1-9 ☎(054)-251-2200)
4 主 催 静岡県教育研究会・同音楽教育研究部
5 後 援 静岡県教育委員会
6 研究主題 『広がれ音楽 豊かなかかわり つながる学び』
7 日 程

9:30	9:55	11:55	13:30	13:45	14:00	15:40	16:00
受付	分科会	昼食休憩	受付 開場	開会 行事	講演	閉会 行事	
各分科会会場			静岡音楽館 AOI				

- 8 講演 『
講師 マリア暮林美歌里 氏 (オルガン奏者)

9 分科会

校種	区分	研究テーマ	領域	発表者	助言者	司会者	記録者
小学校	1 ～ 4 年	自ら音を試し、選び、楽しむ子どもの育成 ～音楽遊びと選択的な学習を生かした鍵盤 ハーモニカ入門期の実践～	表現	林 千穂 大谷小	興津 亜衣 玉川小中教頭	竹中 康介 大里東小	加藤 美幸 安倍川中
		思いをもって『表現できた』と実感を得られる 授業の工夫 ～曲に合った歌い方を身に付けて、歌声をレ ベルアップしよう！～	表現	細川 結加奈 清水岡小			
	5 ～ 6 年	ICTを活用したオリジナル音楽づくり ～2つの領域のつながりを意識した子どもの 主体性を高める題材展開の工夫～	表現	柴田 元気 清水有度第一小	伊勢 真記子 静岡市教育センター指導主事	平尾 卓也 番町小	山田 友美 長田北小
		子どもが思いをもち、音楽に主体的に関わり 達成感を得られる授業を目指して ～個別最適な学びと協働的な学びを手立て として～	表現	林本 はるか 葵小			
中学校	中学校	自ら思いをもち、よりよい表現を目指す生徒の 育成 ～グループ活動を通して～	表現	八木 瑞希 清水袖師小	榊原 さと子 清水第七中教頭	今村 圭 末広中	丸山 尚子 長田南中
		「どう表現するか」を自ら導き出す音楽学習の あり方 ～「赤とんぼ」の表現の工夫を通じた思考・判 断・表現のサイクルの確立～	表現	牧野 ありさ 西奈中			

10 参加申込

静教研ホームページで、令和8年6月15日(月)から7月21日(火)の間に行う。

※参加申し込みは、静教研ホームページへの「会員登録」が必要になります。

詳細は「研究冊子 57-1 号兼静教研だより NO137」の6ページで確認願います。

・期限を過ぎてからの申込については、原則受け付けません。紙上配信での参加をお願いします。

11 会場案内図

【電車でお越しの場合】

JR 静岡駅北口より徒歩5分

【車でお越しの場合】

東名静岡 IC より約3km(約10分)

※車でお越しの際は、近隣の駐車場をご利用ください。



12 その他

- ・当日の資料は静教研ホームページより、各自印刷等をして参加してください。
- ・開催方法や内容の変更、参加にあたっての追加連絡は、すべて「静教研ホームページ」に掲載しますので、各自で確認願います。
- ・大会当日、記録係が撮影した写真を成果刊行物等に利用することがあることをご了承ください。(ホームページには掲載しません)

13 問い合わせ

大会事務局長 石上愛子(静岡市立中島小学校 教諭)

電話 (054)283-4455 FAX (054)281-1824

令和7年度 静岡県教育研究会音楽教育研究部地域代表委員一覧

No	地 域 名		校長代表	学 校 名	教職員代表	学 校 名
1	賀 茂	静 東	渡邊 柳一	下田小	山本 裕紀子	南上小
2	田 方		加藤 有紀子	天城小	久保田 久美子	丹那小
3	東 豆		島野 聡子	桃山小	丸井 瞳	伊東小
4	三 島		五十川 紀子	三島西小	羽入 由香	山田小
5	駿 東		渡辺 英一郎	清水中	高杉 春世	朝日小
6	沼 津		藤池 ゆかり	大平中	眞野 香織	大平小
7	富 士		田中 敦子	青葉台小	松永 渉	天間小
8	静 岡	静 岡	坂口 明日香	清水浜田小	石上 愛子	中島小
9	志 太	静 西	大塚 礼子	大津小	高須 恵	大津小
10	榛 原		渡邊 瑞穂	自彊小	芹澤 智香	相良小
11	小 笠		鈴木 佳代子	佐束小	片桐 優樹	大浜中
12	磐 周		田中 智子	浅羽南小	山口 亜矢	東部小
13	湖 西		黒柳 和之	岡崎小	高柳 由佳	鷺津中
(上記以外の委員)						
部 長					小田 泰子	賤機北小
会 計 主 任					公森 奈々	長田西中
事 務 長					小林 直喜	清水飯田東小

令和7年度 音楽教育 研究部 役員一覧

		氏 名	学 校 名	職名	Email	個人/学校
部 長		小田泰子	静岡市立賤機北小学校	校長	shizuhatakita-ep@shizuoka.ednet.jp	個人
副 部 長		五十川紀子	三島市立西小学校	校長		
		坂口明日香	静岡市立清水浜田小学校	校長		
		田中智子	袋井市立浅羽南小学校	校長		
事 務 長		小林直喜	静岡市立清水飯田東小学校	教諭	shimizuiidahigashi-e1@shizuoka.ednet.jp	学校
幹 事	校 長	五十川紀子	三島市立西小学校	校長		
		坂口明日香	静岡市立清水浜田小学校	校長		
		田中智子	袋井市立浅羽南小学校	校長		
	教職員	山本裕紀子	南伊豆町立南上小学校	教諭		
		石上愛子	静岡市立中島小学校	教諭		
		山口垂矢	袋井市立東部小学校	教諭		
編 集 員	主 任	芹澤智香	牧之原市立相良小学校	教諭	aishou@sweet.ocn.ne.jp	学校
	委 員	羽入由香	三島市立山田小学校	教諭		
	委 員	石上愛子	静岡市立中島小学校	教諭		学校
	委 員	片桐優樹	掛川市立大浜中学校	教諭		
	大会報告 執筆者	眞野香織	沼津市立大平小学校	教諭	t424500@nmz.ed.jp	学校
	研究冊子 執筆者			教諭		学校
会 計	主 任	公森奈々	静岡市立長田西中学校	教諭	osadanishi-jo@shizuoka.ednet.jp	学校
	夏季大会	岡山 宗稔	沼津市立今沢中学校	教頭		学校
	担 当					
	担 当					
会 計 監 査		加藤有紀子	伊豆市立天城小学校	校長		
		坂口明日香	静岡市立清水浜田小学校	校長		
		大塚礼子	島田市立大津小学校	校長		
大会実行委員長		渡辺英一郎	清水町立清水中学校	校長	shimizu_kocho@ever.ocn.ne.jp	個人
大会事務局長		眞野香織	沼津市立大平小学校	教諭	t424500@nmz.ed.jp	学校

夏季研究大会開催地区及び開催予定地区
静岡県教育研究会音楽教育研究部

年度(平成)	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9	3 0	R 元	R 2
日	8/8	8/8	10/29・30	8/4	8/9	8/8		
地区	西	東	中	西	東	中	静東	静西
地域	磐周	東豆	静岡	浜・湖	三・田	志太	駿・沼	小・榛
(備考)			全日音研 東海北陸					

開催予定



年度(令和)	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 1 0
日	8/5	8/3	8/3	8/7.8	8/6.7	8/5.6	8/4.5	8/2.3
地区	静岡	静東	静東	静西	静東	静岡	静西	静東
地域	静岡	賀・東	富士	磐・湖	駿・沼	静岡	小・榛	三・田
(備考)		東①	東④	西③	東③	静岡	西②	東②

年度(平成)	R 1 1	R 1 2	R 1 3	R 1 4	R 1 5	R 1 6	R 1 7	R 1 8
日		8/	8/	8/	8/			
地区	西	東	中	西	東			
地域	志太	三・田	静岡	磐・湖	富士			
(備考)	西① 東海北陸	東②	静岡	西③	東④			

【備考】(開催基準日は、8月1週目の水曜日か木曜日)

- ・令和8年は、8月6日(木)に開催します
- ・令和8年度以降の開催グループ

静東	東①	賀茂・東豆
	東②	三島・田方
	東③	駿東・沼津
	東④	富士
静岡		静岡
静西	西①	志太
	西②	小笠・榛原
	西③	磐周・湖西

静教研本部刊行物の原稿執筆について

原稿提出の前に、各地区の代表
校長先生に見て頂きますよう
お願いします。

1 静教研だより 6月号 【夏季大会案内】夏季大会開催地区担当者

2 静教研だより 9月号 【夏季大会報告】夏季大会開催地区担当者

3 研究冊子 「ときめき かかわり 未来へつなぐ」(12月)

4 「静教研 音楽部報」 2月発行 各地区の教員代表 各地区の研修内容の執筆

年	研究冊子	静教研だより 1月号
H19	東部 池谷好子先生（駿東・足柄小学校）	西部 開発直樹先生（浜松・蜷塚中学校）
H20	西部 松岡恒先生（浜名・湖西中学校）	中部 苅米いずみ先生（焼津・港小学校）
H21	中部 刈米いずみ先生（志太・港小学校）	東部 岡山宗稔先生（沼津・金岡中学校）
H22	東部 森佐和子先生（田方・長岡中学校）	西部 柴利枝先生（磐周・高南小学校）
H23	西部 伊藤公子先生（浜松・尾奈小学校）	中部 古地晶子先生（榛原・榛原中学校）
H24	中部 森下華代先生（小笠・岳洋中学校）	東部 小宮山洋史先生（東豆・網代小学校）
H25	東部 神田初美先生（三島・南小学校）	西部 櫻井聖子先生（磐周・竜洋中学校）
H26	西部 松田紀子先生（浜松・与進中学校）	中部 森本実知子先生（小笠・西郷小学校）
H27	中部 東本みゆき先生（榛原・牧之原小学校）	東部 佐藤真実先生（賀茂・河津中学校）
H28	東部 山本敦子先生（沼津・門池中学校）	西部 西澤晃子先生（湖西・鷺津小学校）
H29	西部 渥美広太先生（磐周・袋井南小学校）	中部 堀江世界先生（静岡・南中学校）
H30	中部 瀧 大輔先生（静岡・東中学校）	東部 佐野美香先生（富士・上井出小学校）
R0	東部 杉本 麻美先生（東豆・門野中学校）	
R2	西部 畠山真理子先生（志太・島田第五小学校）	
R3	東部 落合 貴美子先生（田方・修善寺中学校）	
R4	西部 横山知代先生（御前崎・浜岡中学校）	
R5	東部 松本拓也先生（駿東・清水町立清水中学校）	
R6	西部 早川沙央里先生（磐周・湖西 袋井東小学校）	
R7	東部 鈴木知夏子先生（富士・吉原第二中学校） 砂子坂真美先生（富士宮・第四中学校）	
R8	【中部】 石上愛子先生（静岡・中島小学校）	<p>【これまでに変更した点】</p> <p>R3年までの流れだと、東部は必ず中学校の担当になってしまうのでこちらの流れに変更しています。</p> <p>R11年度に東海北陸大会が静岡県で予定されているため、発表をどの地区が担当するかで臨機応変に担当地区を変更してもよいかと考えています。</p>
R9	【中学校】 西部① 志太	
R10	【小学校】 東部① 賀茂・東豆	
R11	【中学校】 静岡 静岡	
R12	【小学校】 西部② 小笠・榛原	
R13	【中学校】 東部② 三島・田方	
R14	【小学校】 静岡 静岡	
R15	【中学校】 西部③ 磐周・湖西	
R16	【小学校】 東部③ 駿東・沼津	
R17	【中学校】 東部④ 富士	

・平成31年度より、研究成果刊行を研究冊子「ときめき かかわり 未来へつなぐ」のみとする。年1回となり、「静教研だより 1月号」には掲載しない。